

### 前日の海外市況

	始値	高値	安値	終値	前日比	前営業日	10年国債	終値	前日比	前営業日
米ドル・円	82.17	82.89	81.96	82.85	+0.42	82.43	日本	0.989%	▲0.006%	0.995%
ユーロ・円	109.72	110.63	109.38	110.55	+0.89	109.66	米国	2.209%	+0.050%	2.159%
ユーロ・ドル	1.3353	1.3367	1.3310	1.3343	+0.0040	1.3303	ドイツ	1.794%	▲0.014%	1.808%
ポンド・円	131.55	132.75	131.02	132.57	+0.98	131.59	英国	2.204%	+0.004%	2.200%
豪ドル・円	85.47	85.92	85.12	85.77	+0.10	85.67	原油先物	103.02	+0.24	102.78
NZドル・円	67.46	68.00	67.26	67.76	+0.34	67.42	金先物	1671.9	+17.0	1654.9
カナダ・円	82.39	83.13	82.16	83.03	+0.29	82.74	中国人民元	6.2985	▲0.0079	6.3064
スイス・円	91.07	91.86	90.78	91.78	+0.79	90.99	NYダウ	13212.04	+66.22	13145.82
ランド・円	10.70	10.84	10.67	10.80	+0.12	10.68	ナスダック	3091.57	▲3.79	3095.36
香港ドル・円	10.58	10.67	10.56	10.66	+0.04	10.62	シカゴ225	10190	+75	10115
人民元・円	13.04	13.16	13.01	13.15	+0.07	13.08	上海総合	2262.789	+10.629	2252.160
インドルピー・円	1.61	1.63	1.61	1.63	+0.02	1.61	ムンバイ	17404.20	+345.59	17058.61
トルコリラ・円	46.05	46.51	45.94	46.44	+0.28	46.16	ドル指数	78.94	▲0.17	79.11

### 海外市場概況

ドル・円: 3月期末決算に向けた本邦機関投資家のリパトリ(外貨建て資産売却・円買い)に81円96銭へ円高・ドル安推移後、予想を上回った米3月ミシガン大消費者信頼感指数を好感した米国債券利回りの上昇に伴い82円89銭まで反発。  
 ユロ・円: 株高に連れて109円38銭から110円63銭へ円安・ユーロ高推移。  
 ユロ・ドル: ユロ圏財務相が欧州救済基金強化で合意、スペイン政府が2012年予算案を公表し赤字削減への姿勢を明確化したことを好感し1.3367ドルまで上昇後、パパデモス・ギリシャ首相が追加支援が必要となる可能性を警告したことを嫌気し1.3310ドルへ反落。  
 NYMEX原油市場: ミシガン大消費者信頼感指数を好感して堅調推移。  
 NY株式市場: ミシガン大消費者信頼感指数を好感して堅調推移。

### 本日の予定

<国内>  
 ・08:50 日銀短観3月調査(予想:大企業製造業DI-1、大企業非製造業DI5、前回:大企業製造業-4、大企業非製造業4)  
 <海外>  
 ・09:30 豪・3月TDセキュリティーズインフラ指標(2月:前年比+2.0%)  
 ・10:30 豪・2月住宅建設許可件数(予想+0.5%、1月+0.9%)  
 ・17:00 ユロ圏・3月PMI製造業確定値(予想:47.7、速報値47.7)  
 ・18:00 ユロ圏・2月失業率  
 ・23:00 米・3月ISM製造業景況指数(予想:53.4、2月52.4)

### 経済指標

- ・ユーロ圏・3月消費者物価指数速報:前年比+2.6%(予想:+2.5%)
- ・加・1月国内総生産:前月比+0.1%(予想+0.1%)
- ・米・2月個人所得:前月比+0.2%(予想+0.4%)
- ・米・2月個人消費支出(PCE):前月比+0.8%(予想+0.6%)
- ・米・2月PCE価格指数コア・デフレーター:前年比+1.9%(予想+1.9%)
- ・米・3月ミシガン大消費者信頼感指数:確定値76.2(予想:74.5)
- ・米・3月シカゴ購買部協会景気指数:62.2(予想63.0)

### 要人発言

- ・ユーロ圏財務相:「域内財政難国への救済融資の総額を実施分・決定分含め最大で8000億ユーロに制限することで合意」
- ・スペイン政府:「2012年予算の下で省庁歳出を16.9%削減へ」
- ・パパデモス・ギリシャ首相:「追加支援が必要となる可能性も除外せず」
- ・ショイブレ独財務相:「ユーログループは8000億ユーロのファイアーパワーがある」

### 東京市場オープニングコメント

「3月調査の日銀短観と米国3月のISM製造業景況指数に注目」

30日のドル・円相場は、東京市場では、年度末のリパトリ(外貨建て資産売却・円買い)で82円50銭から81円83銭まで下落、欧米市場では、81円96銭から82円89銭まで反発、82円85銭で引けた。ドル・円は、今朝のシドニー市場では、1日に発表された中国の3月の製造業部門購買担当者指数(PMI)が11ヶ月ぶりの高水準となる53.1を記録したことで、83円15銭まで続伸している。

今月の円売り要因としては、本日発表される3月調査の日銀短観で大企業・製造業の景況感の改善が予想されていること、6日に発表される米国3月の雇用統計が改善基調にあることが予想されていること、9-10日の日銀金融政策決定会合での追加金融緩和観測が台頭していること、12-16日に予定されている北朝鮮のロケット発射計画を受けた朝鮮半島の地政学的リスク、原子力発電所の稼働率低下を受けた原油・液化天然ガス(LNG)購入増加観測、などが挙げられる。円買い要因としては、日米の経済指標が予想に反して悪化した場合、新年度入りした本邦輸出企業による円買い為替予約が本格化すること、日銀金融政策決定会合で現状の金融政策の維持が決定された場合、などが挙げられる。9-10日の日銀金融政策決定会合では、追加金融緩和が打ち出されるか否かが注目されている。日本銀行は、2001年3月に量的金融緩和に踏み切った時、日本銀行による国債引き受けを防ぐ財政規律の防波堤として、「日銀券ルール」を制定した。日銀券ルールとは、日銀が長期国債保有額を日銀券発行額の限度内に収めるというもので、現在の日銀券発行残高は約80兆円であり、日銀による長期国債の購入・保有残高は約66兆円となっており、日銀券ルールが遵守されている。デフレから脱却するには、欧州中央銀行(ECB)や米連邦準備理事会(FRB)のように、通貨の発行残高を超える国債の購入に踏み切らざるを得ない。次期日銀総裁と一部の市場関係者の中で予想されている武藤前日銀副総裁・元財務次官は、金融緩和という政策目標を遂行するためには、一時的に国債保有額が銀行券残高を上回っても良く、日銀券ルールの厳格運用は本末転倒、と述べている。本日のドル・円は、3月調査の日銀短観と米国3月のISM製造業景況指数を見極める展開となる。

【本日の予想】ドル・円 : 82円50銭~83円50銭 日銀のインフレ目途&3月日銀短観  
 《午前8時現在》ユーロ・円 : 110円50銭~111円50銭 ユロ圏ソプリリスク&ファイアーウォール(防火壁)増額  
 豪ドル・円 : 86円00銭~87円00銭 豪準備銀行利下げの可能性50%との見方&中国PMI上昇

### 通貨別分析

		ファンダメンタルズ分析	テクニカル分析				
<b>ドル・円</b>		<b>米・政策金利 0-0.25%</b>	<b>GDP(Q4) +3.0%</b>				
買い材料	<ul style="list-style-type: none"> <li>円売り介入枠 195兆円へ増額：覆面介入継続の可能性</li> <li>原子力発電所稼働率低下⇒原油輸入増加観測</li> <li>日銀：インフレ目途(消費者物価指数+1.0%)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>FRB：2014年終盤まで低金利政策(0.0-0.25%)継続</li> <li>米国：財政赤字拡大⇒米国価格下げ(S&amp;P:「AAA」⇒「AA+」)</li> <li>中国人民元切り上げ観測</li> </ul>	一目均衡表	買い継続 @ 78.42 円			
			RSIma	売り継続 @ 83.30 円			
			MACD	売り継続 @ 82.54 円			
売り材料			ストキャスティック	買い転換 @ 82.85 円			
			<b>ユーロ・円</b>		<b>日本・政策金利 0-0.10%</b>	<b>GDP(Q4) -0.7%</b>	
			買い材料	<ul style="list-style-type: none"> <li>欧州銀行資本増強&amp;ギリシャ第2次金融支援(1300億ユーロ)</li> <li>スイス国立銀行(SNB): 無制限ユーロ買い・スイスフラン売り介入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ユーロ圏(PIIGS): 緊縮財政措置で景気後退</li> <li>ドラギ欧州中銀総裁: 景気後退懸念で追加利下げ示唆</li> </ul>	一目均衡表	買い継続 @ 101.00 円
RSIma	売り継続 @ 108.97 円						
MACD	売り継続 @ 108.97 円						
売り材料			ストキャスティック	買い継続 @ 109.80 円			
			<b>ユーロ・ドル</b>		<b>欧・政策金利 1.00%</b>	<b>GDP(Q4) +0.7%</b>	
			買い材料	<ul style="list-style-type: none"> <li>欧州銀行資本増強&amp;ギリシャ第2次金融支援(1300億ユーロ)</li> <li>ユーロ圏救済基金: 7000億ユーロ</li> <li>スイス国立銀行(SNB): 無制限ユーロ買い・スイスフラン売り介入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ユーロ圏諸国: 緊縮財政措置⇒景気後退懸念</li> <li>ギリシャに対する第3次支援観測浮上</li> <li>ドラギ欧州中銀総裁: 景気後退懸念で追加利下げ示唆</li> </ul>	一目均衡表	買い継続 @ 1.3320 ドル
RSIma	買い継続 @ 1.3240 ドル						
MACD	買い継続 @ 1.3215 ドル						
売り材料			ストキャスティック	買い継続 @ 1.3239 ドル			
			<b>豪ドル・円</b>		<b>豪・政策金利 4.25%</b>	<b>GDP(Q4) +2.3%</b>	
			買い材料	<ul style="list-style-type: none"> <li>米国の景気回復、雇用環境の改善期待</li> <li>トリプルA格付け&amp;相対的な高金利通貨</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>豪準備銀行: 現状の金融政策は中立</li> <li>ステューブンス豪準備銀行総裁: 為替介入しないとは言っていない</li> </ul>	一目均衡表	売り継続 @ 85.40 円
RSIma	売り継続 @ 87.10 円						
MACD	売り継続 @ 87.75 円						
売り材料			ストキャスティック	売り継続 @ 87.80 円			
			<b>ポンド・円</b>		<b>英・政策金利 0.50%</b>	<b>GDP(Q4) +0.5%</b>	
			買い材料	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本銀行による円売り介入</li> <li>スイスのタックスヘイブン規制⇒英ポンドへの資金還流の可能性</li> <li>欧米のソブリン・リスクからの逃避⇒英国債への需要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>英国価格下げ懸念・英国リセッション(景気後退)懸念</li> <li>キング・イングランド銀行総裁: 低金利政策継続は適切</li> <li>英中銀: ポンド安は英製造業の競争力向上に寄与</li> </ul>	一目均衡表	買い継続 @ 120.00 円
RSIma	売り継続 @ 132.20 円						
MACD	売り継続 @ 130.58 円						
売り材料			ストキャスティック	買い継続 @ 131.59 円			
			<b>NZドル・円</b>		<b>NZ・政策金利 2.50%</b>	<b>GDP(Q4) +1.8%</b>	
			買い材料	<ul style="list-style-type: none"> <li>イングリッシュNZ財務相: 2014/15年までに財政黒字化</li> <li>中国経済の成長持続に対する期待感</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ニューージーランド格下げ: AA+ ⇒ AA (フィッチ・S&amp;P)</li> <li>NZ準備銀行総裁&amp;首相: NZドル高懸念</li> </ul>	一目均衡表	買い継続 @ 59.40 円
RSIma	売り継続 @ 68.20 円						
MACD	売り継続 @ 67.99 円						
売り材料			ストキャスティック	買い継続 @ 67.40 円			
			<b>カナダドル・円</b>		<b>加・政策金利 1.00%</b>	<b>GDP(Q4) +1.8%</b>	
			買い材料	<ul style="list-style-type: none"> <li>6主要中銀流動性供給措置強化(2013年2月)</li> <li>カーニー・カナダ中銀総裁: インフレ懸念</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>カナダ中銀: GDP見直し下方修正</li> <li>カーニー・カナダ中銀総裁: 利上げの必要性は後退</li> </ul>	一目均衡表	買い継続 @ 76.20 円
RSIma	売り継続 @ 83.90 円						
MACD	売り継続 @ 82.62 円						
売り材料			ストキャスティック	買い転換 @ 83.03 円			
			<b>スイス・円</b>		<b>スイス・政策金利 0-0.25%</b>	<b>GDP(Q4) +1.3%</b>	
			買い材料	<ul style="list-style-type: none"> <li>地政学的リスク回避</li> <li>欧米の景気減速・ソブリン・リスク回避</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スイス国立銀行: 1ユーロ=1.2スイスフランの水準は変更せず</li> <li>スイス国立銀行: スイスフラン高阻止のため政策金利引き下げ0.00-0.25%</li> </ul>	一目均衡表	買い継続 @ 83.80 円
RSIma	売り継続 @ 90.37 円						
MACD	売り継続 @ 90.37 円						
売り材料			ストキャスティック	買い継続 @ 91.20 円			
			<b>ランド・円</b>		<b>南ア・政策金利 5.50%</b>	<b>GDP(Q4) +3.2%</b>	
			買い材料	<ul style="list-style-type: none"> <li>格付け会社: 格付け見直し引き上げ</li> <li>南アフリカ中銀: インフレ見直し上方修正、必要なら物価圧力沈静化へ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>対外投資上限を5%引き上げ25-35%へ</li> <li>デービス南ア貿易産業相: ランドは過大評価されている</li> </ul>	一目均衡表	買い継続 @ 9.50 円
RSIma	売り継続 @ 10.85 円						
MACD	売り継続 @ 10.68 円						
売り材料			ストキャスティック	買い転換 @ 10.80 円			
			<b>香港ドル・円</b>		<b>香港・政策金利 0.50%</b>	<b>GDP(Q4) +3.0%</b>	
			買い材料	<ul style="list-style-type: none"> <li>財政黒字・対外純資産・低失業率・格上げ</li> <li>中国外貨準備の多様化&amp;中国人民元ベッグへ移行の可能性</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際通貨基金(IMF): 資産バブルのリスクを警告</li> </ul>	一目均衡表	買い継続 @ 10.12 円
RSIma	売り継続 @ 10.70 円						
MACD	売り継続 @ 10.63 円						
売り材料			ストキャスティック	買い転換 @ 10.66 円			

### 重要事項(ディスクレーム)

- 株式会社フィスコ(以下「フィスコ」という)は株価情報および指数情報の利用について東京証券取引所・大阪証券取引所・日本経済新聞社の承諾のもと提供しています。
- “JASDAQ INDEX”の指数値および商標は、株式会社大阪証券取引所の知的財産であり一切の権利は同社に帰属します。
- 掲載される情報はフィスコが信頼できると判断した情報源をもとにフィスコが作成・表示したものです。その内容および情報の正確性、完全性、適時性について、フィスコは保証を行っておらず、また、いかなる責任を持つものでもありません。
- 本資料に記載された内容は、資料作成時点において作成されたものであり、予告無く変更する場合があります。
- 本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はフィスコに帰属し、事前にフィスコへの書面による承諾を得ることなく本資料およびその複製物に修正・加工することは強く禁じられています。また、本資料およびその複製物を送信、複製および配布・譲渡することは強く禁じられています。
- フィスコが提供する投資情報は、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行動を勧誘するものではありません。
- 本資料に掲載される株式、投資信託、債券、為替および商品等金融商品は、企業の活動内容、経済政策や世界情勢などの影響により、その価値を増大または減少することもあり、価値を失う場合があります。
- 本資料は、本資料により投資された資金がその価値を維持または増大することを保証するものではなく、本資料に基づいて投資を行った結果、お客さまに何らかの損害が発生した場合でも、フィスコは、理由のいかんを問わず、責任を負いません。
- フィスコおよび関連会社とその取締役、役員、従業員は、本資料に掲載されている金融商品について保有している場合があります。
- 投資対象および銘柄の選択、売買価格などの投資にかかる最終決定は、お客さまご自身の判断でなさるようお願いいたします。

以上の点をご了承の上、ご利用ください。

株式会社フィスコ